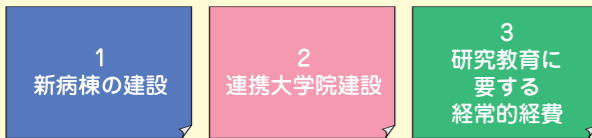


募集要項

募集目標額……15億円

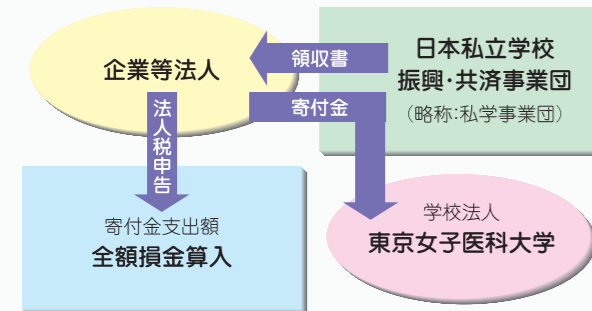
募金の種類

次の3種類の募金の中から、寄付金対象（寄付金使途）をご選択ください。



この3種類の寄付金は法人税免除の日本私立学校振興・共済事業団の受配者指定寄付金です。

「受配者指定寄付金」制度



企業等法人からのご寄付について

日本私立学校振興・共済事業団を經由して私立学校に指定寄付をする「受配者指定寄付金」制度は、法人税法上（昭和40年大蔵省告示第154号）の優遇措置が講じられ、寄付金全額を損金に算入できます。

当事業団は、企業等から随時寄付金を受け入れ、これをご寄付者が指定する学校法人（私立学校の設置者）に配付しています。

平成16年度にこの「受配者指定寄付金」制度が大幅に改善され、私立学校は全額損金扱いとなるご寄付を、いつでも受け入れることが可能になりました。

募金に関する事業団への手続きは東京女子医科大学がすべて行います。お申込希望の方は「教育研究資金室」までご連絡ねがいます。必要書類を郵送させていただきます。

申込方法

寄付金の減免税の手続き上、日本私立学校振興・共済事業団あてに指定寄付の申込手続きをする必要がありますので、同封の所定「寄付申込書」に必要事項をご記入のうえ、返信用封筒でお送りください。

払込の種類

寄付申込書に必要事項を記載してご郵送ください。

- (1) 一括払込 …申込書にご記載の期日までに一括してお払い込みください。
- (2) 分括払込 …分割回数と同じ枚数分の寄付申込書にご記入いただき、各申込書の期日毎にお払い込みください。

払込方法

銀行払込

下記銀行の「学校法人 東京女子医科大学 理事長 吉岡博光」口座へ電信扱いでお振込みください。

三菱東京UFJ銀行 四谷支店
普通預金口座 No4169881

※ご寄付により取得した個人情報につきましては、本学からの礼状送付、ご寄付者芳名録の作成に関する業務のみ利用します。

学校法人 東京女子医科大学

募金趣意書

寄付のお願い



新病棟：完成予想図

ご支援をお願いする募金の種類

1. 新病棟の建設
2. 連携大学院建設
3. 教育・研究に要する経常的経費

学校法人東京女子医科大学は本邦唯一の女子の医学教育機関として多くのすぐれた医療人を排出し、高度な研究・医療を社会に提供してまいりました。経営面においても、これまで比較的安定した運営を続けることができましたのは、皆様方の格別なご理解とご支援の賜物と深く感謝いたしております。

さて本学では河田町キャンパス再構築の一環として、病床数240床の新病棟建設計画が立案され平成21年のオープンをめざしております。さらに本学と早稲田大学との連携による医学・生命科学と理工学の先端テクノロジーの融合をめざす連携大学院もすでに本学の隣接地に土地を確保し、平成20年に開校の予定であります。

大学および大学病院を取り巻く環境は益々厳しいものがありますが、教育・研究の発展、向上を図り、さらに、継続的に良質の医療を提供するためには上記の施策は不可欠であります。本学ではかねてより全学を挙げて合理化を進め、経営改善を行い、経費削減に努めてまいりましたが、自助努力のみではこれら施策の全額を賄うことには限界がございます。

経済界の皆様におかれましては、漸く永いデフレ期を終えたとはいえ、景気にはまだまだ不透明感もあり、引き続き厳しい経営が求められるものと推察申し上げます。こうした中での募金のお願いであり、大変恐縮ではございますが、上記本学の事情をご賢察いただき、格別のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



学校法人 東京女子医科大学 教育研究資金室

〒162-8666 東京都新宿区河田町8番1号

TEL 03-3353-8111 内線30351~30352

ご挨拶

理事長 吉岡 博光



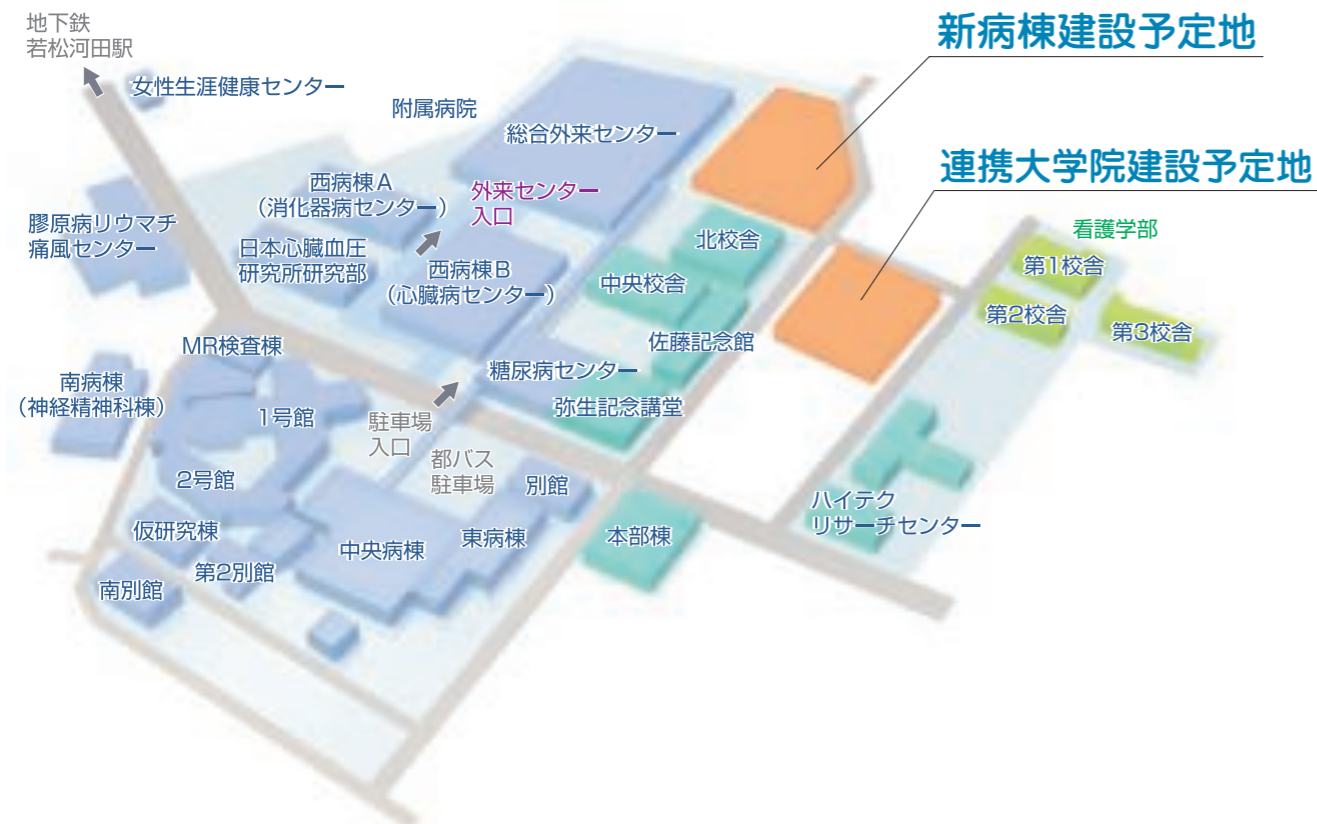
本学は、明治33年（1900年）12月5日、創立者吉岡彌生先生が、6畳一間、4名の学生で東京女医学校を創立してから平成18年（2006年）で創立106年を迎えました。

この間、本学は幾多の存亡の危機に見舞われましたが、卒業生、教職員の血と汗の結晶により、創立の精神を守り、我が国唯一の女子医科大学として、また、教育、研究、診療の最先端に位置する大学として、国内外より高い評価を得てまいりました。

このたび、患者様中心の新時代に適応する第一病棟建設と21世紀の国際的先端医療を先取りする早稲田大学との連携大学院の開設を計画しております。その内容につきましては募金趣意書および事業概況で述べている通りであります。

本学はこれらの新規事業を達成するために、長期に亘り財源確保に努力してまいりましたが、私学の自助努力には限界があり、全てを賄うことは困難であります。経済状況の厳しい折、誠に恐縮ですが、企業のみなさまには、本学の社会的使命をご理解頂き、募金に是非ともご協力を賜りたく、伏してお願い申し上げます。

キャンパス案内図



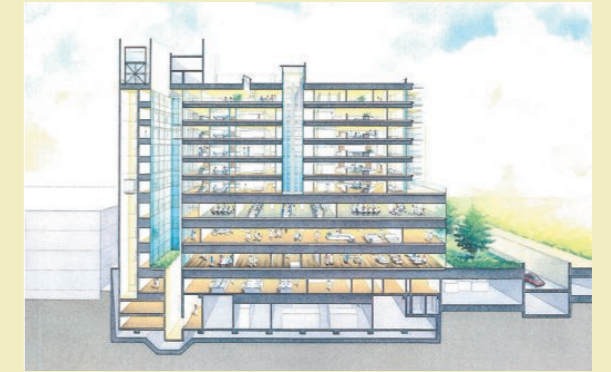
建物や設備充実のためのプロジェクト

1. 新病棟の建設

医療の質と安全性を重視した21世紀型の病院機能を盛り込んだ新病棟を建設します。

事業内容

- ◆建築面積 1,400㎡
 - ◆延床面積 17,850㎡
 - ◆建物階数 地上9階 地下2階
 - ◆病床数 240床
 - ◆総事業費（設備整備費を含む） 90億円
- ※平成21年オープンを目指します。



新病棟予想図

2. 東京女子医科大学・早稲田大学連携大学院（仮称）の建設

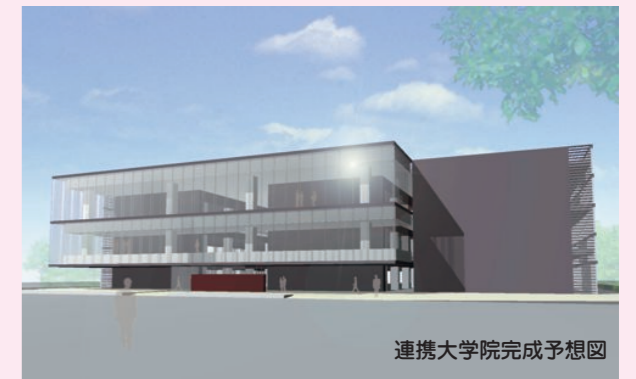
連携大学院のコンセプト

- (1) 医学と工学を融合させた新領域の創出とその臨床応用
- (2) 他大学との連携を含めた集学的アプローチ
- (3) 新しい概念やシステムの構築

税務大学校校舎跡地を早稲田大学と共同で取得し、両大学で展開するバイオ・医学関連および生命医療系分野における共同研究施設を建設します。

- ◆敷地面積 7,017㎡
- ◆建築面積 4,851㎡
- ◆延床面積 20,015㎡
- ◆建物階数 地上3階 地下2階
- ◆総事業費（土地取得費用及び建築費用） 45億円（本学分）

※平成20年開校を目指します。



連携大学院完成予想図

3. 教育研究に要する経常的経費

本学は常に最高度の医療水準を目指し、病める人のために心暖かい理想的な医療を行い、独創的な生命科学の研究を推進すると共に、医学教育の充実に日夜努力をし、21世紀には国際的医科大学への発展を目指しています。